

今週（8月14日から8月18日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、15日(火)の積み最終日にかけて出合いレートが強含む展開となった。新しい積み期間となった16日(水)以降は、ビッドサイドの様子見姿勢が強く、レートは低下し、低水準での推移となった。

無担保コールO/N物は、週前半の14日、15日は積みの最終調整による調達ニーズが強く、テイクンに動く先が多く見られた事で加重平均レートは上昇した。16日(水)以降は、積み期間が切り替わり、ビッドサイドには低位のレートで様子見姿勢を取った先も多くあった事で、一転してギブン地合いとなった結果、加重平均レートは▲0.06%台の低水準での推移となった。18日(金)は、3日積みとなりビッドサイドの動向が注目されたが、大きく取り上がる先は見られず、概ね横這い圏での取引となった。

日銀当座預金残高は538兆円弱から始まり、15日(火)の年金定時払いを主因に545兆円程度まで増加した。その後は、国債の発行や財政資金の払いなどの増減要因が見られたが、概ね横這い圏での推移となった。

●レポ市場

今週のGC T/N物の出合い水準は、概ね▲0.13～▲0.10%程度での推移となった。

SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、引き続き3M物が在庫の薄さからしっかりと推移した一方、1Y物は17日(木)の入札結果を受けて軟調な展開となった。

15日(火)に実施された短国買入オペは、前回と同額の1,000億円でオファーされ、按分利回較差、平均利回較差ともに+0.011%と、やや弱めの結果となった。

17日(木)に実施された1Y物入札は、将来的な金融政策修正への警戒感からか弱い結果となった。結果発表後のセカンダリマーケットでは無難に推移した。18日(金)に実施された3M物入札は、やや強めの結果となった。結果発表後のセカンダリマーケットでは堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP発行市場は、小売、機械等で大型発行が見られたものの、夏季休暇中の発行体が多いためか、案件に乏しく落ち着いたマーケットとなった。

市場発行残高は、引き続き28兆円台前半で推移している。

発行レートについても、引き続き0%近辺での出合いが中心となっている。しかし、ロングターム物の案件では、日銀による政策変更の警戒感からか、レート水準にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
8/14 (月)	32,059.91	0.615	145.08	△ 0.068	△ 0.107	5,379,000
8/15 (火)	32,238.89	0.625	145.54	△ 0.029	△ 0.107	5,457,700
8/16 (水)	31,766.82	0.625	145.67	△ 0.060	△ 0.120	5,435,700
8/17 (木)	31,626.00	0.650	146.40	△ 0.064	△ 0.122	5,454,900
8/18 (金)	31,450.76	0.625	145.60	△ 0.064	△ 0.120	5,441,400

来週（8月21日から8月25日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
8/21 (月)					
8/22 (火)		流動性供給 5,000億円 8/23発行	交付税借入 12,000億円 8/31借入		7月の米中古住宅販売
8/23 (水)					7月の米新築一戸建て販売件数
8/24 (木)		流動性供給 5,000億円 8/25発行	交付税借入 12,000億円 9/4借入		経済シンポジウム (ジャクソンホール会議:26日まで) 7月の米耐久財新規受注
8/25 (金)	8月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 7月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	TB3M 58,000億円 8/28発行			

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
8/21 (月)	500	5,100	5,600	CP買入 国債補完	▲ 100 31,700		31,600	37,200	TB3M発行▲58,000償還62,200 TB1Y発行▲35,000償還34,000 エネルギー借入▲6,677期日6,700
8/22 (火)	1,500	▲ 5,000	▲ 3,500	社債買入		1,000	1,000	▲ 2,500	
8/23 (水)	▲ 200	▲ 5,000	▲ 5,200				0	▲ 5,200	流動性供給▲5,000
8/24 (木)	▲ 1,000	▲ 3,000	▲ 4,000				0	▲ 4,000	
8/25 (金)	▲ 500	1,500	1,000				0	1,000	流動性供給▲5,000 国有林野借入▲961期日1,000
週間合計	300	▲ 6,400	▲ 6,100	—	31,600	1,000	32,600	26,500	

8/21は日銀予想、8/22以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、引き続きビッドサイドに消極的な姿勢が見込まれる事から、今週後半と同水準での出合いが予想される。債券レポ GC T/N物は、新積み期入り直後のため資金ニーズの動向が注目される。短国市場は、25日に3M物の入札実施が予定されている。また、22日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、多くの企業が夏季休暇明けとなり、どの程度発行案件が出てくるか注目される。現時点で8月中の発行量は夏季休暇の影響からか、前月と比べると落ち着いているものの、市場発行残高は高水準で推移しており、今四半期中に過去最高残高である29兆1,518億円に到達するかどうかが焦点となる。

主要なイベントは、国内では25日に8月の都区部消費者物価指数、海外では、23日に7月の米新築一戸建て販売件数、24日から26日に経済シンポジウム(ジャクソンホール会議)などが予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入